

## 指定管理者管理運営状況評価

|        |               |
|--------|---------------|
| 評価対象施設 | さいたまスーパーアリーナ  |
| 指定管理者  | 株式会社 さいたまアリーナ |
| 評価対象年度 | 令和6年度         |
| 施設所管課  | 都市整備政策課       |

| 評価項目                     | 評価 | コメント  |
|--------------------------|----|---|
| ①効率的かつ効果的な運営             | A  | 安全を確保しながら高い施設稼働率・利用料金収入を確保している。また、収益性の高いイベントを増やす工夫も行っている。                               |
| ②快適な施設利用のためのサービス提供       | A  | 利用者からの意見を反映させる設備の改修(車椅子席の改修、楽屋前スライディングウォールの設置やMB廊下照明のスイッチ増設など)を実施し、施設利用の向上につとめている。      |
| ③適切かつ高水準の施設維持管理          | A  | 施設を原因とする事故は発生していない。日常点検を含め様々な視点から生じた不具合を即座に把握し、早期に対処している。                               |
| ④さいたまアリーナを核とした新都心のにぎわい創出 | A  | 地域に根付いた定例のイベントと並行して新規イベントを開催し、にぎわいを創出している。また、休館期間に向けたけやきひろばでのイベント開催の交渉にも動き出している。        |
| ⑤数値目標達成度                 | A  | 中期経営計画で掲げた目標のうち、未達成であったのは稼働率のみである。稼働率の低下は主催者都合のキャンセルによるものであるが、生じた空きを埋めるための営業努力が必要である。   |
| ⑥その他(県への貢献など)            | A  | 県と協力してバリューアップ・ネーミングライツパートナーの募集についての取組を進めている。また、ロゲットカードの作成といった取り組みを実施しアリーナの情報発信PRに努めている。 |
| 総合評価                     | A  |   |

|      |                 |   |
|------|-----------------|---|
| 特記事項 | 特に評価すべき点        | 多様なイベントを誘致し賑わいを創出している。県への精算納付金は主催者都合のキャンセルがありながらも10億円以上を納付しており、収益を得るための工夫が見受けられる。 |
|      | 次年度に向けて改善が望まれる点 | さいたま市経由での小学校へのチラシ配布が2025年3月からできなくなり、イベント周知の工夫が必要になる。                              |